

山男
 広島高師山岳部歌

Em Am B7
 かたじけなくの あこがれを
 Em B7 Em
 ねたいたいたそ ゆくみち
 Am B7
 おしえのみちぞ やあおと
 Am Em B7 Em
 ひろしまこーしーの やまおとこ

1. 同じ山への あこがれを 胸にい抱いて 行く道は
 教えのみちぞ 山男 広島高師の 山男
2. 人皆花に酔うときも 残雪恋いて 山に入り
 涙を流す 山男 雪解の水に 春を知る
3. 広島山は 低くとも 夏は故郷の 山が待つ
 岩をよずれば 山男 無我を悟は この時ぞ
4. 深山紅葉に 肩しぐれ テント濡らして 暮れてゆく
 心なき身ぞ 山男 もののあわれを知るころぞ
5. まちの乙女ら 想いつつ 尾根の処女雪 けたてては
 シュテムボーゲン 山男 こうぜんの気は やみがたし
6. 同じ教えの 道をゆく まぶたにうかぶ 山の道
 道は一つぞ 山男 広島高師の 山男

(神尾明正 作詞, 武山信治 作曲)